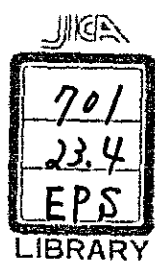


業務資料No. 706

アルゼンティンの青年農業移住

アルゼンティン日系農家の
青年農業移住者受入れに関する意向調査

昭和 58 年 10 月



国際協力事業団

移計調
J R
83 - 9

国際協力事業団	
受入 月日 '84 3.10	701
登録No. 10041	23.4
	EPS

は　じ　め　に

わが国の海外移住希望者全体に占める農業移住希望者の割合はこの10年間、漸減の傾向を示しているが、農業移住を志向する者は、今尚数多くおり、昭和57年度におけるこの分野の新規相談件数は541件を数えている。

一方、戦後の農業移住者(当事業団扱い)の約70%を受入れていたブラジルが移住者受入れの選択を非常に厳しくしてきたことにより、同国への、特に農業移住者の送出に大きな制約を受けてきており、また、将来的にも、その見通しはきびしいと言わざるを得ない。

しかしながら、これら厳しい状況下にあっても、移住希望者の要望に応えるためブラジル以外の国々における移住者受入れの可能性を把握することは極めて重要でかつ急務となっている。

したがって、当事業団では、このような背景ならびに認識から、昭和58年3月当事業団ブエノス・アイレス支部管内全域を調査対象地域とし、調査対象日系農家655戸に対し、アンケート調査により、日系農業経営者の青年農業移住者受入れの希望有無を調査した。

その結果、263戸の日系農家より回答が寄せられ、これらを取りまとめたのが本調査書である。本調査書が、移住業務を実施している関係各位の参考資料として活用頂ければ幸いである。

昭和58年9月

移住計画調査部長

JICA LIBRARY



1053436[0]

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の背景及び調査目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査地域	4
4. 調査時期	4
5. 調査機関	4
6. 調査事項	4
7. その他	5
II 調査結果	7
1. 総括	9
2. 調査結果集計表	11
3. 調査個票集計表	18
4. アンケート調査フォーム（別表）	36

I 調 査 概 要

1. 調査の背景及び調査目的

アルゼンティン共和国への日本人の移住は明治20年（西暦1886年）に始まり、戦前には約5,400人の日本人が移住した。戦後の移住は昭和22年（同1947年）に再開され、昭和58年3月までに、事業団を通じて移住した人の数は2,581人である。このうち、1,957人が農業移住者で、そのうち、雇用農業移住者は、全農業移住者の78%にあたる1,517人となっている。

雇用農業移住者の受入れ先は、主として花卉栽培農家で、そのほとんどがブエノス・アイレス市近郊に住んでいる。雇用農業移住者は、受入れ先で3～4年の雇用期間を経て、土地を購入し、独立して自営農業移住者となるケースが多い。

農業青年の独立に際しては、事業団は、土地の手当と営農資金の融資を行っている。

さて、わが国の海外移住希望者全体に占める農業移住希望者の割合は漸減の傾向を示しているものの、昭和57年度の1ヶ年におけるこの分野の新規相談件数は、541件を数えている。

一方、戦後の農業移住者（当事業団扱い）の約70%を受入れてきたブラジルが新外国人法制定（1980年8月19日付）等にみられるように移住者受入れの選択を非常に厳しくしてきたことにより、同国への今後の農業移住者の送出は大きな制約を受けることとなろうが、今なお、数多くいる移住希望者の願いに応えるため、ブラジル以外の国々における移住者受け入れの可能性や将来性を把握することは極めて重要且つ急務となってきた。

このような背景と認識の下に、当事業団は、ブエノス・アイレス市近郊の既に独立している日系農家を対象に、今後の青年農業移住者の受け入れについての可能性と実感を把握することを目的として以下の調査を実施した。

2. 調査方法

当事業団ブエノス・アイレス支部管内全域（ネウケン、リオ・ネグロ、ミシオネス、コルドバ、ネコチェア、チビルコイ、チャカブコ、ブエノス・アイレス市近郊の各地域）の調査対象農家に対し、同ブエノス・アイレス支部より各地域の邦人団体（15団体）を通し、アンケート用紙（別表様式参照）を送付する一方、

日系新聞2社に広告の協力依頼を行ない、調査を実施した。調査結果については、同支部及び東京本部にて、回答あった個票をもとに集計・分析を行なった。

3. 調査地域

上記地域

4. 調査時期

昭和58年3月

5. 調査機関

国際協力事業団ブエノス・アイレス支部

6. 調査事項

1) 雇用青年受入れ希望の有る農家，無い農家（共通事項）

①氏名，生年月日，来亜年月，出身県 ②家族構成 ③営農状況 { ⑦営農形態 ⑧所有地面積 ⑨耕作面積 ⑩主要作物とその規模 ⑪年間粗収入 (1982.1～1982.12) ⑫主要農業施設 ⑬主要農機具，車輛及び設備 }

2) 雇用青年受入れ希望農家

①受入れ希望時期及び員数（単身，家族別，1983～1988年以降の年度別） ②受入れにあたっての引受態勢 { ⑭住居（使用可能有無等） ⑮食事（雇用主提供，自炊等） ⑯給与（法制による基準額支給の可否） } ③青年移住者の雇用経験有無 ④受入れに際しての希望する青年の年令，農業経験年数

3) 雇用青年非受入れ農家

受入れを希望しない理由

4) その他意見等

7. その他

本調査については、ブエノス・アイレス支部管内各地区の日本人会、日本人クラブ、文化協会、その他のグループ及び日系新聞社より全面的な協力を得たことを深謝する。

Ⅱ 調 査 結 果

1. 総 括

ブエノス・アイレス市近郊の調査可能な655戸に対し、アンケート用紙を送付したところ、263戸より回答を得た。(表1-1参照)

そのうち、青年農業移住者の受入れを希望している農家が回答263戸のうち30%の79戸で、受入れ希望時期及び希望人数については、昭和58年度中で4家族、単身38人、2～3年のうちが10家族、単身73人、4～5年以降が5家族、単身44人で、合計19家族、単身155人となっている。

また、現在のところ受入れの希望はないが、いろいろの条件、又は要因が満たされれば、青年を受入れたい、との意志表示をしている農家が回答263戸のうち21%の55戸となっており、上記希望農家を合わせると、回答者数のうち半数以上の農家が日本よりの農業青年を受入れたいとの希望を持っていることになる。

青年の農業経験については、農業高校卒業程度の青年を希望している農家が27戸(回答79戸のうち、以下同じ)、当事業団の海外移住研修所(以下研修所)修了者を希望する農家が26戸、農業実務経験3年程度を希望している農家が25戸となっており、中には研修所で是非、青年を鍛えて欲しい、との強い希望もあることから、日系農家の多くは、3年程度の農業経験と後に述べるような強い精神力と意欲を持ち合わせている青年を望んでいるようである。

青年の年齢については、25才位までを希望している農家が48戸と、回答者の約6割を占めている。

受入れを希望している農家は、一体どのような青年を期待しているかについては、青年本人の自覚、性格等、具体的には、永住の意志の強さ・忍耐強さ・熱意を持っていること、国際的感覚を持っていること、責任感・根性を持ち合わせていること、順応性があり、自立心が強く長い目で物事を見ることが出来ること、など表現はさまざまであるが、精神面を強調し、期待している農家が多い。

さて、青年の受入れを希望しているこれら日系農家の概況を記すと次のとおりである。

アルゼンティンにおける居住年数については、16～20年が23戸、21～25年が16戸で、今までに青年を雇用した経験が有るか否かについては、65

％の51戸の農家が既に雇用の経験を持っている。

また農業収支については、有効回答44戸の平均は昭和57年度で、約514万円で、農業所得は約205万円であり、年間の現金支出家計費は約55万円となっている。(注)

(注) 現金支出家計費については、当事業団が調査を実施した昭和57年度の農家経済調査のうち、ブエノス・アイレス市近郊9移住地の調査戸数111戸の平均値を引用した。

一方、上述のように、潜在的に青年受入れを希望しているものの、明白なる希望表示が出来ない理由となっている種々の条件又は要因について、当該日系農家は具体的に次のように述べている。

即ち、アルゼンティンの政治・経済等の不安定により、青年移住者との日常のトラブルが心配であり、この「日常のトラブル」の事由として、有能な青年ほど独立を急ぎ過ぎる、現地事情に対応出来る青年が少ない、日本での常識を押通す青年が多い、青年に根性がない、などと説明している農家が40戸を数えている。

また、青年移住者受入れのための住宅などの新設の余裕や農地がない為と答えている農家が24戸となっている。

なお、以上の回答のあった263戸の日系農家の営農形態について述べると、花(バラ、カーネーション、キク他)、鉢物(観葉植物、鉢物用花)、果樹(リンゴ、モモ、ミカン、ブドウ、他)、蔬菜(イチゴ、トマト、ピーマン、レタス他)、その他(植林、茶、養鶏他)からなっている。

表1-1 青年農業移住者受入れに関するアンケート調査結果集計表

事 項	員 数	事 項	員 数
1. 調査依頼者数	655戸	③ 昭和60年度 (単身)	26人
回 答 数	263	(家族)	3家族
2. 移住者受入れ希望農家数(以下受 入れ希望農家)	79戸	④ 昭和61年度 (単身)	19人
移住者潜在受入れ希望農家数(以 下潜在受入れ希望農家)	55	(家族)	2家族
移住者非受入れ農家数(以下非受 入れ農家)	129	⑤ 昭和62年度以降 (単身)	25人
計	(263戸)	(家族)	3家族
3. 受入れ希望農家		計⑥ (単身)	(155人)
(1) 居住地域		(家族)	(19家族)
① ブエノス・アイレス市近郊	64戸	⑥ ダブル回答(1農家で複数希望)	
② ブエノス・アイレス州(市よ り遠隔地)	9	(4) 希望する青年の年齢	
③ ミシオネス州	6	① 20才位まで	10戸
計	(79戸)	② 25才位まで	48
(2) 営農形態(農家別主要作目)		③ 30才位まで	4
① 花(バラ、カーネーション、 キク、その他)	38戸	④ 問わない	17
② 鉢物(観葉植物、鉢物用花)	19	計	(79戸)
③ 果樹(リンゴ、モモ、ミカン、 ブドウ、その他)	8	(5) 希望する青年の農業経験	
④ 蔬菜(イチゴ、トマト、ピー マン、レタス他)	7	① 農業高校卒業程度	27戸
⑤ その他(植林、茶、養鶏他)	7	② 農業短大 "	2
計	(79戸)	③ 農業大学 "	3
(3) 受入れ希望時期と希望人数		④ 海外移住研修所(JICA) 修了者	26
① 昭和58年度中 (単身)	38人	⑤ 農業実務経験1年程度	10
(家族)	4家族	⑥ 農業実務経験3年程度	20
② 昭和59年度 (単身)	47人	⑦ 問わない	22
(家族)	7家族	計⑧	(111戸)
		⑧ ダブル回答による	
		(6) アルゼンティン居住年数	
		① 16~20年	23戸
		② 21~25年	16
		③ 26~30年	7
		④ その他	33
		計	(79戸)

事 項	員 数	事 項	員 数
(7) 青年移住者の雇用経験有無		(9) 出身県	
① 有		① 北海道	11戸
1名雇用	16戸	② 沖 縄	10
2～5名雇用	22	③ 長 野	4
5名以上雇用	13	④ 香 川	4
小 計	51	⑤ その他の県	50
② 無	28	計	(79戸)
計	(79戸)		
(8) 受入れ態勢状況		(10) 期待する農業青年の内容	
〔住居〕		① 青年本人の自覚・性格等を重	13戸
① 使用できる住居がある	51戸	要視している農家	
② 住居はあるが修繕を要する	16	具体的には：－	
③ 現在は所有していないので新		・ 永住の意志、忍耐強さ、熱	
設しなければならぬ	12	意、国際的感覚、責任感、根	
計	(79戸)	性などを持ち合わせているこ	
注) 上記②、③とも受入れ農家が負		と。	
担することになる。		・ 順応性があり、自立心が強	
〔食事〕		く長い目で物事を見ることが	
① 受入れ農家がつくる	26戸	できること。	
② 自 炊	19	② 農業経験があり、資金を持っ	6
③ いずれでもよい	26	て来ることが必要と考えている	
④ 回答なし、その他	8	農家	
計	(79戸)	③ 後継移住者の必要性を痛感し	5
注) 食事にかかる費用は雇用青年が		ているため青年の導入を希望し	
負担する。(1人1カ月約30～		ている農家	
40US\$相当額)		④ 青年の出身地域(たとえば東	3
〔給与月額〕		北地方)を望んでいる農家	
① 100US\$相当額以上	34戸	⑤ 健康な青年が来ることを期待	2
② 100US\$相当額	43	している農家	
③ 100US\$相当額以下	2	(11) 農業収支(有効回答44戸分の	
計	(79戸)	平均)	
注) 給与額が非常に低いのは、雇用期		昭和57年度(昭和57年1月	
間は研修期間であるという伝統的		～同12月)の農業収支について	
習慣によるものである。		：－	
		① 農業租収入 約514万円	

事 項	員 数	事 項	員 数
㉔ 農業所得(注) 約205万円 (注) 当事業団昭和57年度農家 経済調査ブエノス・アイレス 市近郊9移住地の調査戸数 111戸分の平均農業所得率を 40%として換算 (12) 所有温室数(有効回答44戸分 の平均) (注) 23棟 (注) 1棟平均6m×40m=240m ²		いため、と答えた農家 計 (注) (注) ダブル回答	4 (68戸)
4 潜在受入れ希望農家(注) (注) 現在のところ受入れの予定はし ていないが、いろいろの条件(又 は要因)が満たされれば青年を引受 けたい、と意志表示している農家 条件(又は要因)の具体的説明：－	55戸	(1) 営農形態 ① 花 (上記に同じ) 37戸 ② 鉢物 (") 5 ③ 果樹 (") 5 ④ 蔬菜 (") 3 ⑤ その他(") 4 ⑥ 未記入(") 1 計 (55戸)	
① アルゼンティンの政治・経済 等の不安定により、青年移住者 との日常のトラブルが心配、と 答えた農家	40	(2) アルゼンティン居住年数 ① 16～20年 12戸 ② 21～25年 8 ③ 26～30年 9 ④ その他 26 計 (55戸)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 有能な青年ほど独立を急ぎ 過ぎる ・ 旅行者気分で移住する青年 が多い ・ 現地事情に対応出来る青年 が少ない ・ 雇用期間をつとめた青年が 過去において少ない ・ 日本の常識を押し通す青年が 多い ・ 青年に根性がない ・ 農業での定着率が低い 		(3) 出身県 ① 静岡 7戸 ② 沖縄 5 ③ 高知 5 ④ 北海道 3 ⑤ 長崎 3 ⑥ 鹿児島 3 ⑦ その他の県 29 計 (55戸)	
㉕ 青年移住者受入れのための住 宅などの新設の余裕や農地がな	24	(4) 農業収支(有効回答23戸分平 均) 昭和57年度の農業収支につい て：－ ① 農業粗収入 約295万円 ② 農業所得(注) 約118万円 (注) 上記農業所得率により換算	

事 項	員 数	事 項	員 数
5 非受入れ農家		(5) 受入れを希望しない理由	
(1) 営農形態		① 現在の経営規模から、特に青年を必要としない	78戸
① 花 (上記に同じ)	67戸	② 経営規模の拡大の余地はあるが、特に日本からの青年を必要としない	48
② 鉢物(")	12	③ その他の理由	3
③ 果樹(")	15	計	(129戸)
④ 蔬菜(")	1	上記の理由を具体的に説明すると：-	
⑤ その他(")	27	・ 日本とアルゼンティンにおける生活水準、物の考え方の差が大きいため、青年の受入れを希望していない。	10戸
⑥ 未記入	7	・ アルゼンティンの政治、経済に対する不安により、青年の受入れ後に責任が持てないため、受入れを希望しない。	7
計	(129戸)	・ アルゼンティン人の労働者を雇用した方が経費が少なく、精神的にも気楽であるため、受入れるつもりはない	7
(2) アルゼンティン居住年数		・ 日本からの青年は過去において、農業への定着率が悪く、花卉栽培への努力が足らず、また、興味を持つとしないので、受入れは考えていない	5
① 16～20年	32戸	・ その他の理由のため(老夫婦、転職予定等)	8
② 21～25年	28		
③ 26～30年	15		
④ その他	54		
計	(129戸)		
(3) 出身県			
① 北海道	15戸		
② 長野	13		
③ 福岡	12		
④ 沖縄	11		
⑤ 熊本	9		
⑥ その他の県	69		
計	(129戸)		
(4) 農業収支(有効回答63戸分の平均)			
昭和57年度の農業収支について：-			
① 農業粗収入 約240万円			
② 農業所得(注) 約96万円			
(注) 上記農業所得率により換算			

青年農業移住者受入れアンケート

農家 番号	在 世 年 数	家族数 (同居数 含 人)	営農形態	年 間 粗収入 (千円)	土 地 面 積		所 有 温室数 (棟)	年 度 別 受 入 れ				
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		単 身				
								昭和 58	59	60	61	62年 以降
1	17	5	F($\frac{D}{C}$)※	5	2	1	27		1人		1	1
2	20	6	F(R)	37	4	2.5	30	1				
3	18	12	V, F, O	83	18 (含借地0)	17	40		2			
4	31	5	F(R), V	25	5.4	4	14	1				
5	23	4	F(R)	28	25	2	30		1			
6	11	5	V, F(R), A	27	5.5	4	5.5					
7	31	8	F(R)	3	5.3	2.5	1.5			1		2
8	-	5	F($\frac{C}{R}$)	11	4	0.5	2.0					
9	19	8	P, V, F(R)	-	1.4	2.5	2.1	1	1			
10	24	5	F($\frac{D}{R}$), V	8	3	0.7	2.8		1			
11	45	2	F(Fg)	6	6	2.5	4.0	1	1			
12	30	7	F($\frac{D}{C}$)	1.3	2.5	0.2	9					1
13	45	3	F(R), Fr, V	6	3	3	1.5	1				
14	21	5	V, F(R)	17	3	2.5	2.8	2				
15	6	3	F(D)	0.6	2	1	1.7	1		1		2
16	18	8	F($\frac{D}{Fg}$)	1.6	7.5	2	3.0	1				
17	25	4	F(R)	1.0	4	1.5	2.4		1			
18	21	4	F($\frac{D}{R}$)	1.5	2	1	1.8		1			
19	20	4	F($\frac{D}{R}$)	1.3	6	1.5	2.0		1		2	2
20	20	4	F(R)	6	7	2	1.3			1		
21	17	6	F(C), V	8	8	4	2.2			1		
22	22	4	F(M)	-	2	-	1.0		1			
23	55	5	F(M), M	-	2	-	2.4	1				
24	44	4	M	0.3	10.0	5	8		1			
25	22	4	Fr, P	-	1.9	1.5	-		2	2	1	
26	27	2	O, P	1.0	4.6	2.7	-	2				
27	28	4	O, P	2.0	11.0	56.5	-					
28	54	4	O	5.0	42.0	39.0	-					

調査個票集計表(受入れ希望農家分)

単身・家族数					受入れ態勢		雇用経験	受入れ希望		備 考
家 族					住居 有無	給与 給与	有無及び 人 数	年齢	農業経験 年 数	
58	59	60	61	62年 以降						
	家族 1				○	B	-	×	×	
		1	1	1	○	A	有(2~5)	25	1	
					○	B	-	×	H, 3	
					○	B	有(2~5)	25	H, J, 1	
					△	A	-	25	H	
	1				○	B	有(1)	30	3	
			1		○	A	-	×	J	
					○	B	有(5)	30	H	
					△	B	有(1)	25	H, J, 1	
					○	B	有(1)	25	J	
					○	B	有(5)	25	H	
					△	B	-	20~ 25	H, 3	
					○	B	有(2~5)	25	×	
					○	A	有(1)	25	J	
					○	B	有(1)	25	×	
					○	A	有(2~5)	25	H	
					○	B	有(1)	25	C	
					○	B	-	25	J, 3	
					△	B	-	25	H, J	
					×	A	有(2~5)	25	H	
				1	×	B	有(2~5)	25	H, 3	
					△	B	-	25	×	
					×	B	有(2~5)	25	C, U, 3	
					○	A	有(1)	25	×	
					○	B	-	25	H, 3	
1					○	B	-	25	×	
					○	A	-	×	×	
1					○	A	有(5)	30	3	

青年農業移住者受入れアンケート

農家 番号	在亜 年数	家族数 (同居数 含む) 人	営農形態	年 間 粗収入 (千円)	土地面積		所 有 温室数 (棟)	年 度 別 受 入 れ				
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		単 身				
								昭和 58	59	60	61	62年 以降
29	53	5	P	50	400	300	-					
30	35	3	Fr, P	8	60	20	-					
31	18	2	F(M, M)	24	0.5	0.5	7		1			
32	45	2	F(Fg)	30	1.2	0.7	12			1		
33	19	4	F($\frac{D}{C}$)	6	3	-	18	1	2	2	2	4
34	19	5	F(R)	-	35	1	31			1		1
35	22	5	F(R)	17	2	1	10			1		
36	25	4	F(R)	8	7.5	1	36		1			
37	26	5	F(R), V	0.2	2.5	(借地 $\frac{1}{3.5}$)	26		1			
38	25	4	F($\frac{R}{D}$, C)	2	3	3	12	1	1	1		
39	19	6	F($\frac{D}{C}$)	-	7	2	15	1				
40	45	5	F($\frac{R}{Fg}$) Fr	4	29	1	12	1				
41	19	5	F($\frac{D}{C}$)	7	2	1	15			1		
42	14	5	F(Fg)	5	2.5	1	3			2		
43	17	7	F(R), M	73	3.5	2	71		2			
44	12	5	F(D)	17	2	1.5	40		2	1	1	
45	46	4	F($\frac{D}{M}$, C)	-	2.3	1	26		1		1	
46	18	3	F(R)	-	1.7	1.7	40	1				
47	31	4	F(R)	0.2	10	2	40	1				
48	18	4	O	13	2	-	-			1		
49	18	8	Fr, V	-	10	10	5	1				
50	27	4	Fr, V	0.8	30	20	-		1			
51	7	7	Fr, V	4	6	6	-					
52	19	7	Fr, V	5	90	50	-		1		1	
53	18	3	Fr, V	33	20	20	2	2	1	1	1	2
54	24	7	Fr, V	-	57	7	-		1			
55	22	4	Fr	-	47	46	-		1			
56	47	7	Fr, F(Fg)	8.3	12	6	15	1				

調査個票集計表(受入れ希望農家分)

単身・家族数					受入れ態勢		雇用経験	受入れ希望		備 考
家 族					住居 有無	給与	有無及び 人 数	年令	農業経験 年 数	
58	59	60	61	62年 以降						
1	2				○	A	有(5)	30	1	
		1			○	B	-	×	×	
					×	A	有(2~5)	×	×	
					○	A	有(2~5)	×	U	
					×	B	-	×	J	
					×	A	-	25	J, 3	
					○	B	-	25	3	
					△	C	有(2~5)	25	H	
					△	A	有(2~5)	25	J	
					○	A	有(5)	×	×	
					△	-	有(1)	25	×	
					○	B	有(5)	×	3	
					×	A	-	25	J	
					○	B	有(1)	25	×	
					△	A	有(3)	25	×	
					×	B	-	20	3	
					△	B	有(2~5)	25	H, C, J	
					×	B	有(1)	25	H, J	
					○	B	-	25	J, 1	
					×	A	-	25	×	
	1	1		1	○	B	有(2~5)	×	3	
					○	A	有(2)	25	H, J	
1	1		1		○	-	-	-	-	
					○	C	-	25	H, 3	
					△	A	有(5)	×	J, 1	
					○	B	-	25	H, C	
					○	A	有(2~5)	25	H, J	
					○	A	有(2~5)	×	1	

青年農業移住者受入れアンケート

農家 番号	在 年数	家族数 (同居数 含む) 人	営農形態	年 間 粗収入 (千円)	土地面積		所 有 温室数 (棟)	年度別受入れ				
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		単 身				
								昭和 58	59	60	61	62年 以降
57	25	5	V	67	16	16	—	1				
58	19	7	V	5	6	35	2		1			
59	31	6	V	13	5.4	36	—	1				
60	43	9	V.O	75	16	14	—	2				
61	22	6	F(D), V	—	4	4	20	1				
62	32	8	V	15	2.1	2.1	—	1				
63	52	10	V	17	150	95	—			1		
64	32	6	F(Fg), M	25	2	—	19		1	2	2	
65	11	4	F(Fg)	18	48	1	12	1	1			
66	46	4	F(M), M	175	2	2	20		1			
67	16	5	M, F(Fg)	80	6.4	2	35	2	2	2	2	4
68	44	4	F(Fg) M	47	4	3	28	2	2			
69	29	6	F(Fg), M	—	2	1	10		2			
70	44	3	F(Fg), M	17	7.5	0.5	20	1				
71	46	6	M, F(Fg)	13	2	1	30		1			
72	47	10	F(M), P, M	—	5.4	3.5	120	2	2	2	2	4
73	24	4	F(Fg), M	—	1.8	—	25				1	
74	19	6	F(Fg), M	25	1	0.5	10		1		1	1
75	30	8	F(Fg), M	—	1	1	12		1		1	
76	21	4	F(Fg), M	23	3	2	24	1				
77	27	3	F(M), V	—	2	2	6		1			
78	42	5	F(M)	—	1.2	0.1	2		1			
79	20	4	F(M)	25	1.3	—	18	1		1		1
計								38人	47人	26人	19人	25人

調査個票集計表(受入れ希望農家分)

単身・家族数					受入れ態勢		雇用経験	受入れ希望		備 考
家 族					住居 有無	給与 給与	有無及び 人 数	年令 年 数	農業経験 年 数	
58	59	60	61	62年 以降						
					○	B	有(2)	20~ 25	J, 1	
					×	A	有(1)	25	J	
					○	A	有(2~5)	25	H	
					○	B	有(5)	20	H	
					△	A	-	×	J	
					○	B	-	×	J	
					○	A	-	25	3	
					△	B	有(5)	20~ 30	×	
					○	A	有(3)	×	×	
					○	B	有(2~5)	25	H, 3	
					○	A	有(5)	×	×	
					○	A	有(1)	20	H, 3	
					×	A	有(2~5)	25	J, 3	
					○	A	有(2~5)	25	J	
					○	A	有(5)	20	H, 3	
					○	B	有(5)	25	J	
					△	B	有(2~5)	25	J	
					○	A	有(1)	25	×	
					○	A	有(3)	25	H	
	1				○	A	有(2~5)	25	3	
					△	B	-	25	×	
					○	B	有(2~5)	20	J	
					○	A	有(1)	25	J	
家族 4	家族 7	家族 3	家族 2	家族 3						

青年農業移住者受入れアンケート調査個票集計表

農家 番号	在 年数	家族数 (同居数 含む) 人	営農形態	年 間 粗収入 (千円)	土 地 面 積		所 有 温室数 (棟)	受 入 れ	
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		受入れを希望し	
								住宅などを新 設する余裕な し	JICA設定 の給与基準額 が高過ぎる
1	26	5	F(C, D, R)	8.3	2	1	18		
2	21	6	O	7.5	160	29	-		
3	55	4	F(D, C)	-	5	1	-		
4	13	5	F(D)	2.5	3	15	12		
5	32	4	F(M), V	-	10	3	33		
6	22	8	V	-	-	-	-		
7	24	5	Fr, P	-	-	20	-		
8	12	6	F(D, C)	-	35	-	15		
9	16	5	F(D, C)	5.8	37	0.5	23	○	○
10	48	6	-	-	4.5	1.5	-		
11	29	4	F(R, C)	4.2	3.5	1	19		
12	24	3	Fr, O	2.5	5.5	12	-		
13	-	1	-	-	7	5	-		
14	22	4	F(C, D, O)	10	2	0.5	15		
15	17	5	F(D, C)	5	4	0.5	20		
16	14	5	F(R, C)	0.5	1.5	1.5	11		
17	15	4	F	8.3	-	-	4		
18	45	5	F(Fg, M)	-	5	1.3	17		
19	18	2	F(D, Fg)	2.5	3.6	3.6	10		
20	52	5	F(Fg, M)	2.8	4.5	0.8	20		
21	15	4	F(Fg), P	-	166	24	8		
22	22	5	V, Fr F(Fg)	3.3	24	18	20		
23	45	4	F(M)	-	4	0.4	12		
24	20	7	P, Fr, O	1.7	120	46	-		
25	21	10	P, Fr, O	3.3	31	15	-		
26	21	7	F(C, M)	0.5	95	3	14		
27	15	9	F(D)	-	9.7	3	20		
28	21	2	F	-	1	1	10		

(潜在受入れ希望農家分及び非受入れ農家分)

を希望しない理由					備 考
たいが・・・。		受入れを希望しない			
日常のトラブルが心配である	その他	現在の経営規模から……。	経営規模拡大の余地はあるが……。	その他	
○		○ ○ ○	○		(注) JICA：国際協力事業団
				- ○ ○ ○	
○ ○ ○		○ ○	○ ○ ○		
○		○ ○	○ ○	○	
○		○ ○		○ ○	
		○ ○		-	

青年農業移住者受入れアンケート調査個票集計表

農家 番号	在亜 年数	家族数 (同居数 含む) 人	営農形態	年 間 粗収入 (千ドル)	土地面積		所 有 温室数 (棟)	受 入 れ	
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		受入れを希望し	
								住宅などを新 設する余裕な し	JICA設定 の給与基準額 が高過ぎる
29	18	5	F(R)	5	2.2	1.8	13	○	
30	-	4	F(C, D)	83	3.5	1	10		
31	18	5	Fr	03	6	5.5	-		
32	21	4	O, P	-	27	-	-		
33	47	5	F(R)	-	5.5	1.5	10		
34	-	6	F(D)	0.1	22	12	22		
35	13	4	Fr, P	-	93	13	-		
36	31	3	O	-	6	0	6		
37	15	3	F(R)	19	2.5	07	26		
38	2	2	F(Fg)	33	-	-	3		
39	42	5	F(Fg, M)	67	1.2	-	13		
40	51	4	Fr	0.7	10	5	-		
41	25	4	F(D, C)	83	3	0.5	10		
42	32	3	F(R)	11	3	1	15		
43	16	4	F(D)	4.8	2.5	1	20		
44	4	2	A	4	0.1	-	-		
45	23	5	F(D)	3.3	3	1.5	15		
46	-	-	-	-	-	-	-		
47	5	4	A	60	2.2	-	-		
48	20	8	F(D), Fr	10	27	13	30		
49	15	4	F(Fg)	1.7	0.5	0.3	5		
50	16	4	A	50	5	-	-		
51	16	2	F(M)	17	0.8	-	7		
52	51	2	F	3.3	2	0.5	15		
53	51	2	M	-	3.8	-	-		
54	30	6	F(P), M	3.3	3.5	0.4	13		
55	44	5	F(M), M	-	3	1	10		
56	20	4	P, Fr	83	64	39	-		

(潜在受入れ希望農家分及び非受入れ農家分)

を希望しない理由					備 考
たいが・・・。		受入れを希望しない			
日常のトラブルが心配である	その他	現在の経営規模から……。	経営規模拡大の余地はあるが……。	その他	
○		○			
○ ○		○	○ ○ ○		
	○	○ ○	○	○ -	
		○	○	○ ○ ○	
○ ○		○		- ○	
		○ ○ ○		○ -	
		○			

青年農業移住者受入れアンケート調査個票集計表

農家 番号	在距 年数	家族数 (同居数 含む) 人	営農形態	年間 租収入 (千円)	土地面積		所有 温室数 (棟)	受入れ	
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		受入れを希望し	
								住宅などを新 設する余裕な し	JICA設定 の給与基準額 が高過ぎる
57	53	3	F(R)	-	3.5	1	30	○	
58	24	4	Fr, V, A	5	20	16	-		
59	55	8	P, O	12	50	50	-		
60	14	3	F(D)	0.3	2	2	13		
61	25	6	G	65	2.5	-	-		
62	11	4	F(D, C)	3	0.2	0.2	5		
63	46	5	F(R)	23	2	1	25		
64	20	5	F(D, C, Fg)	3.3	3	2	12		
65	25	2	F(R, D)	-	5	2.5	20		
66	11	3	O	2	1.2	1	-		
67	28	5	F(D, C)	3	3	2.4	10		
68	20	3	F(M, Fg)	20	3.5	1	6		
69	15	4	F(D, C)	1.2	3	0.8	30	○	
70	25	6	F(D, Fg), V	2.6	1.9	0.3	9		
71	33	4	F(D, C), M	-	8	6	50		○
72	11	5	F(R)	3.7	2.7	0.3	14		
73	20	7	F(C, R, D)	20	3.5	3	30		
74	53	-	-	-	-	-	-		
75	51	2	Fr	5	7	6	-		
76	3	8	F(R)	20	2.9	10	27		
77	32	6	F(Fg)	1.2	1	-	10	○	
78	18	6	F(D, C), M	-	0.8	0.7	18		
79	19	2	Fr, V	1.3	19	18	-	○	
80	42	2	G	3.3	8	-	-		
81	30	3	F(R)	5	4	2	14		
82	20	6	F(D, C)	5.8	2	0.4	15	○	
83	21	4	F(R)	8.3	3	3	21	○	
84	17	4	F(R, C, D)	70	1.1	1.0	15		

(潜在受入れ希望農家分及び非受入れ農家分)

を希望しない理由					備 考
たいが・・・。		受入れを希望しない			
日常のトラブルが心配である	その他	現在の経営規模から……。	経営規模拡大の余地はあるが……。	その他	
			○	○	
		○ ○			
		○ ○	○	○ -	
○		○ ○ ○	○ ○ ○		
○		○	○ ○	○ -	
		○ ○	○		
○			○	○	
○					

青年農業移住者受入れアンケート調査個票集計表

農家 番号	在 住 年 数	家族数 (同居数 含む) 人	営農形態	年 間 粗収入 (千ドル)	土 地 面 積		所 有 温室数 (棟)	受 入 れ	
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		受入れを希望し	
								住宅などを新 設する余裕な し	JICA設定 の給与基本額 が高過ぎる
85	17	5	F(D)	-	1.8	0.2	-		
86	30	6	O, P	-	5.0	3.3	-		
87	5	3	A	5	0.1	-	-		
88	30	7	O, P	4.5	4.8	4.6	-	○	
89	30	4	P, O	8.3	5.0	3.0	-	○	
90	55	2	Fr	-	4.4	2.8	-		
91	23	5	F(D)	-	2	-	-	○	
92	18	5	Fr, V, O	1.3	4.3	2.25	-		
93	22	7	F(D, C)	8.3	3.6	-	15		
94	24	3	P, O	0.1	2.20	2.3	-		
95	17	5	F(D, Fg)	4.2	3	1	9		
96	32	2	-	-	-	-	-		
97	21	9	F(D)	1.2	5.2	2	20		
98	20	5	F(M)	2.5	2	2	6		
99	18	3	F(D, C)	2.5	2	1.5	35	○	
100	29	4	F(C, R)	1.0	2.5	1	14		
101	47	9	V	1.7	8.5	5.0	-		
102	47	2	F(R, Fg)	5.3	1.5	-	17		
103	18	2	F(D, C)	5.0	2.1	0.3	20		
104	31	2	O	4	8.3	1.8	-		
105	26	4	F(R)	1.0	3.5	1.5	12		
106	32	5	F(R)	8.7	3	2	20		
107	32	2	Fr	2.5	3.8	3.8	-		
108	31	5	F(M, C, D)	4.3	2.4	0.8	15		
109	33	2	F(D, C)	5	1	1	11		
110	25	6	O, V	-	5.5	3.5	-		
111	24	6	F(Fg)	-	7	4	37		
112	25	4	F(M)	-	2.8	1	17		

(潜在受入れ希望農家分及び非受入れ農家分)

を希望しない理由					備 考
たいが・・・。		受入れを希望しない			
日常のトラブルが心配である	その他	現在の経営規模から……。	経営規模拡大の余地はあるが……。	その他	
		○	○	○	
		○	○		
			○		
○ ○ ○		○ ○	○		
○ ○		○	○		
○ ○		○ ○ ○	○		
○		○ ○ ○			
	○				
○				○	

青年農業移住者受入れアンケート調査個票集計表

農家 番号	在亜 年数	家族数 (同居数 含む) 人	営農形態	年間 粗収入 (千ドル)	土地面積		所有 温室数 (棟)	受入れ	
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		受入れを希望し	
								住宅などを新 設する余裕な し	JICA設定 の給与基準額 が高過ぎる
113	31	5	F(R),M	-	1.5	1	10	○	
114	20	5	F(D)	27	26	0.3	10		
115	44	2	F(C),V	11.7	2	1.5	18		
116	17	5	F(R),V	-	33	0.8	-		
117	20	5	F(D,C)	-	6	4	100		
118	16	3	A	-	2.5	-	-		
119	32	4	F(R)	5	1.7	0.5	10		
120	13	8	F,O	-	0.2	-	2		
121	42	4	F(M)	-	0.7	0.5	-		
122	31	7	V	42	9	6	2	○	○
123	14	5	F(R),V	10	51	30	25		
124	27	11	F(C),M	-	7.3	2	-		
125	42	4	F(R,D,C)	-	2.6	2	22	○	
126	12	5	F(C,D)	-	2	1.5	14	○	
127	27	6	P,Fr	8.3	61	32	-		
128	48	6	Fr	12	80	75	-		
129	32	5	F	67	1	0.7	17		
130	22	4	F(M)	25	1	-	9		
131	16	6	F(D,Fg)	20	4	4	12		
132	30	5	F(M)	-	1.5	1	10		
133	19	7	Fr	-	20	15	-		
134	55	2	F(R,Fg)	2.5	2	0.5	7		
135	18	5	M	-	-	借地 1	6		
136	16	4	Fr,V	0.5	59	4	-		
137	45	4	M	-	1.5	-	10		
138	18	6	-	-	1	-	-		
139	24	4	F(R)	25	3	1	23		
140	23	5	F(M)	17	0.9	-	10		

(潜在受入れ希望農家分及び非受入れ農家分)

を希望しない理由					備 考
たいが・・・。		受入れを希望しない			
日常のトラブルが心配である	その他	現在の経営規模から……。	経営規模拡大の余地はあるが……。	その他	
		○ ○ ○	○		
○		○ ○	○	-	
○ ○ ○		○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	
○ ○		○ ○ ○	○		
○	○		○		
○		○ ○ ○			
○		○ ○ ○	○		
○		○ ○ ○			

青年農業移住者受入れアンケート調査個票集計表

農家 番号	在班 年数	家族数 (同居数 含む 合人)	営農形態	年間 粗収入 (千円)	土地面積		所有 温室数 (棟)	受入れ	
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		受入れを希望し	
								住宅などを新 設する余裕な し	JICA設定 の給与基準額 が高過ぎる
141	46	5	M	50	2	1.5	10		
142	24	1	-	-	-	-	-		
143	16	4	F(D,C,R)	13.3	3	0.5	20 ビニール	○	
144	42	5	F(R)	-	25	0.8	30		
145	15	5	M	0.1	3	-	12		
146	32	4	F(D,C,Fg)	2	3	1	12	○	
147	18	5	Fr	17	20	7	-		
148	20	5	F(D,C)	-	7	1.5	24	○	
149	62	1	-	-	-	-	-		
150	24	4	F	-	0.5	借地(20 2.5)	15		
151	23	4	P, F	-	90	20	1		
152	23	4	P, Fr	13	60	50	-		
153	7	2	A	15	1	-	-		
154	23	10	P, Fr	0.2	68	63.8	-		
155	16	7	F(D)	0.1	3.5	1	20		
156	54	4	P	8.3	280	168	-		
157	19	4	O, Fr	8.3	27	22	-		
158	10	2	F(D,C)	8.3	2	0.5	10		
159	48	6	F(C, Fg)	3.3	2	-	17		
160	18	5	F(R)	8.3	2.7	0.8	15		
161	28	5	Fr, F(C, D)	0.3	20	15	(内ビニ ール8)11	○	
162	24	4	F(Fg)	11	0.4	0.2	6		
163	31	6	F(D)	8.3	3.2	1.5	17		
164	18	7	Fr	0.4	100	10	-		
165	11	5	F(D, C, V)	-	2	1	9		
166	47	4	F	5	1	-	9		
167	28	5	Fr, F	0.4	20	16	10	○	
168	20	6	F(D)	2	2.7	1	10		

(潜在受入れ希望農家分及び非受入れ農家分)

を希望しない理由					備 考
たいが・・・。		受入れを希望しない			
日常のトラブルが心配である	その他	現在の経営規模から……。	経営規模拡大の余地はあるが……。	その他	
○ -		○ ○ ○	○ /	-	
○ ○		○ ○		-	
○		○ ○ ○ ○			
		○	○ ○ ○ ○ ○		
○	○	○	○ ○ ○		
○		○ ○			

青年農業移住者受入れアンケート調査個票集計表

農家 番号	在 年数	家族数 (同居数 含む) 人	営農形態	年 間 粗収入 (千円)	土 地 面 積		所 有 温室数 (棟)	受 入 れ	
					所有地 (ha)	耕作地 (ha)		住宅などを新 設する余裕な し	JICA設定 の給与基準額 が高過ぎる
169	32	5	F(R)	10	3.3	0.3	12		
170	20	6	F(D)	5	1.3	0.3	18		
171	16	5	F(D)	1.3	3	0.5	6		
172	20	5	F(R)	31	3	2	33		
173	15	3	F(D)	5	2.5	1	14		
174	24	4	F(R)	-	5	1.5	19	○	○
175	27	4	A	-	0.2	-	-		
176	-	5	F(D,C),V	-	3.6	2	50		
177	28	5	Fr	11.7	1.3	1.2	-	○	
178	8	9	F(D)	-	2	2	1.2		
179	25	4	F(D,C),V	15.5	2	2	1.5		
180	-	9	Fr, P	5	6.0	2.0	-		
181	26	12	P, O	0.1	2.5	2.4	-		
182	30	7	F(D)	-	3.5	3.5	3.0		
183	29	8	P, O	50	25.0	15.0	-		
184	13	4	F(D)	-	2	0.9	-	○	
計								24	4

(潜在受入れ希望農家分及び非受入れ農家分)

を希望しない理由					備 考
たいが・・・。		受入れを希望しない			
日常のトラブルが心配である	その他	現在の経営規模から……。	経営規模拡大の余地はあるが……。	その他	
				-	
				-	
○		○ ○	○ ○	○	
○			○	○	
		○ ○		-	
		○	○	-	
40	4	78	48	21	計 219

無記入 16

合 計 235 (複数回答)

(別表)

青年農業移住者(单身又は家族)の受入れに関するアンケート

1. 記載者の氏名, 生年月日, 来亜年月, 出身県:
- (氏名) (西暦) 年 月 日生
(出身県) (来亜年月) 在亜 年
2. 家族構成: 配偶者 (有 無)
同居家族(父, 母, 子供:男 人, 女 人, その他)
3. 営農状況:
- (1) 営農形態 花卉, そ菜, 果樹, 雑作, 林業, 加工業, 養蜂, 畜産(肉牛, 乳牛, 豚, 卵鶏, 肉鶏, その他)販売業, その他
- (2) 所有地面積 h a. (3) 耕作面積 h a.
- (4) 主要作物とその規模
- | (作物名) | (規模) |
|-------|------------|
| ① | h a. 頭 羽 棟 |
| ② | |
| ③ | |
| ④ | |
- (5) 年間粗収入(概算) 1982.1~1982.12 百万ペソ
- (6) 主要農業施設
- | | | |
|-------------------|-----|----------------|
| ① 作業場, 収納庫(倉庫)類 | 棟 延 | m ² |
| ② 温 室 | 棟 延 | m ² |
| ③ 畜 舎 | 棟 延 | m ² |
| ④ その他の建物(住居, 旧住居) | 棟 延 | m ² |
- (7) 主要農機具, 車輛および設備
- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| ③ | ④ |
| ⑤ | ⑥ |
| ⑦ | ⑧ |

Ⅱ 1. 雇用青年受入れの希望がありますか (有 無)

☑と答えた方のみ御記入してください。 ☒と答えた方は6.を御記入してください。

2. 受入れ希望時期および員数について

1983年度内	单身()人程度,	家族()家族程度
1984 "	" () "	" () "
1985 "	" () "	" () "
1986 "	" () "	" () "
1987 "	" () "	" () "
1988年度以降	" () "	" () "

3. 受入れにあたっての引受態勢

(1) 住居()① すでに所有しておりそのまま使用可能である。

()② 既存施設をかなり手直ししなければならない。

(雇用主住宅と同棟, 独立家屋)

部屋数 およそその面積 m²

電気 (有 無), 水道 (有 無)

()③ 新設しなければならない。

(2) 食事(雇用主提供, 各自が自分で作る, どちらでもよい)

(3) 給与()① 事業団が法制および実態から算定する基準額(83年度の場合100米ドル相当約6000千ペソ(以下基準額という)以上支給できる。(但し食費実費徴収)

()② 基準額程度は支給できる。

()③ 基準額以下しか支給できない。

4.(1) 青年移住者の雇用経験はありますか (有 無)

(2) これまでに何人雇用しましたか

()① 1人

()② 2人~5人

()③ 5人以上

5. 受入れるに際して、どんな青年を望みますか。

- (1) 年齢 () ① 20才位まで () ② 25才位まで
() ③ 30才程度 () ④ 問わない
- (2) 農業経験年数 () ① 農業高校卒程度
() ② 農業短大卒程度
() ③ 農業大学卒程度
() ④ 事業団農業研修課程修了者(1ヶ年)
() ⑤ 農業実務1年程度
() ⑥ 農業実務3年程度
() ⑦ 問わない

6. 受入れを希望しない理由(Ⅱ-1.において☑と答えた方のみ御記入下さい)

- () ① 現在の経営規模から特に必要としない
() ② 規模拡張の余地もあるが、特に必要としない
() ③ 受入れしたいが住宅など新設する余裕がない
() ④ // 事業団の設定する給与基準額が高すぎる
() ⑤ 受入れしてもいいが、日常のトラブルが心配である
() ⑥ その他の理由

7. その他御意見があれば、お願いします。

長時間御協力ありがとうございました。

国際協力事業団

JICA